

インフォシス、シーメンスガメサ・リニューアブル・エナジーと提携し

業務のデジタル変革を実施

50 カ国以上で SAP S/4HANA を導入

ベンガルール（インド）2021年2月2日： 次世代のデジタルサービスおよびコンサルティングのグローバルリーダーである[インフォシス](#)（NYSE: INFY）は、再生可能エネルギー業界のグローバルリーダーである[シーメンスガメサ・リニューアブル・エナジー](#)（SGRE）から、世界的にハーモナイズされた ERP システムを提供するための SAP S/4HANA 導入の戦略パートナーとして選定されました。SAP S/4HANA の導入により、シーメンスガメサはアジャイルでグローバルな企業となってデジタル化を推進するとともに、デジタル機能、サービス、競争力のあるポジションを強化することができます。

インフォシスは、Greenfield SAP S/4HANA ソリューションの導入を 7 カ国で成功させ、2 つのレガシー ERP システムを置換しました。インフォシスとシーメンスガメサのチームは、業務プロセスと技術環境全体における冗長性を記録的短時間で削減するのに有用なソリューション・テンプレートを共同で設計・構築しました。このソリューションは、バリューチェーン全体でビジネス効率を高め、市場投入までの時間を短縮できるように設計されています。この変革によって、リアルタイムの報告、デジタル化に対応した労働力、市場投入までの時間の短縮が可能になり、これはシーメンスガメサの次世代アプリケーション環境の中核になります。シーメンスガメサは産業化した展開に向けてインフォシスと提携し、50 カ国以上、22 の製造工場プロジェクトを実施しており、これはすべての事業部（オンショア、オフショア、サービス、社内部門）を網羅しています。プロジェクトでは、Infosys [Cobalt](#) が活用されています。

シーメンスガメサ最高情報責任者（CIO）の Alan Feeley 氏は、次のように述べています。

「すべての事業部と地域に単一の S/4HANA システムを導入することは、プロセスの効率化、標準化、産業化に向けた全社戦略のコアな構成要素です。7 カ国で実施した本稼働の第一歩は、すべての業種をサポートし、選択したグリーンフィールド・アプローチの価値を証明しており、インフォシスによってハイブリッド Azure クラウド周辺の安定した生産的な環境が実現しています。この一つのグローバル設定は、ほぼゼロの「標準を変える」アプローチをもたらし、将来の持続可能なコスト管理とアップグレードの証明に対して自信を与えてくれます。インフォシスは立派な「持続力」を実証して確かな製品を提供し、パートナーとして私たちの期待に完全に応えています。」

インフォシス エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼グローバル製造部門ヘッドの Jasmeet Singhasmeet Singh は、次のように述べています。

「効率的な ERP システムは、事業継続に向けて特に現在重要になっています。シーメンスガメサとの戦略的パートナーシップによって、シーメンスガメサのデジタル変革ジャーニーは次のフェーズへと進められます。その中で当社は Infosys Cobalt を活用し、業務プロセスのハーモナイゼーションとテクノロジーのリーダーシップでイノベーションの実現に向けた取り組みを行います。この連携によって、シーメンスガメサ・リニューアブル・エナジー（SGRE）は、パンデミック後の世界で市場ポジショニングをさらに強化できると当社は確信しています。」

当社について

インフォシスは、次世代デジタルサービスおよびコンサルティングのグローバルリーダーです。当社は46カ国の顧客のデジタル変革を実現しています。過去40年間グローバル企業のシステムや業務を管理してきた経験に基づき、お客様のデジタル変革を専門的に誘導します。AIによる変更実行の優先順位化、アジャイルデジタルによるビジネス強化、優れたサービス提供により、お客様に高い評価をいただいています。当社は常に学習し、イノベーションエコシステムのデジタルスキル、専門知識、アイデアを活用して継続的な改善を実現しています。

詳しくは、www.infosys.com をご覧になり、インフォシス (NYSE: INFY) がどのように企業のデジタル改革を支援しているかご確認ください。

セーフハーバー条項

本リリースに記載されている当社の将来的な成長の予測、財務的な見通し、新型コロナウイルスが当社従業員、お客様およびステークホルダーに及ぼす影響を回避するための計画に関する記述の一部は、1995年私募証券訴訟改革法の『セーフハーバー条項』に該当する情報が含まれており、多くのリスクや不確定要素が存在しているため、実績と大きく異なる場合があります。これらの記述に関連するリスクや不確定要素には、新型コロナウイルスに関するリスクと不確定要素、新型コロナウイルス蔓延の抑制を図る政府などの措置の効果、インド、米国、その他の世界各国における不況または景気後退に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済状況の変化、収益の変動、為替レートの変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のあるITサービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技術をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、係争中の訴訟や政府の調査の結果などが含まれますが、これに限定されるものではありません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2020年3月31日に終了する会計年度の年次報告書 (Form 20-F) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、追加で書面および口頭により将来の展望を随時発表する場合がありますが、法令で定められている場合を除き、当社または代理人により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先

インフォシスリミテッド 日本支店 マーケティング本部長

安藤 jo_ando@infosys.com / 090-1045-0448